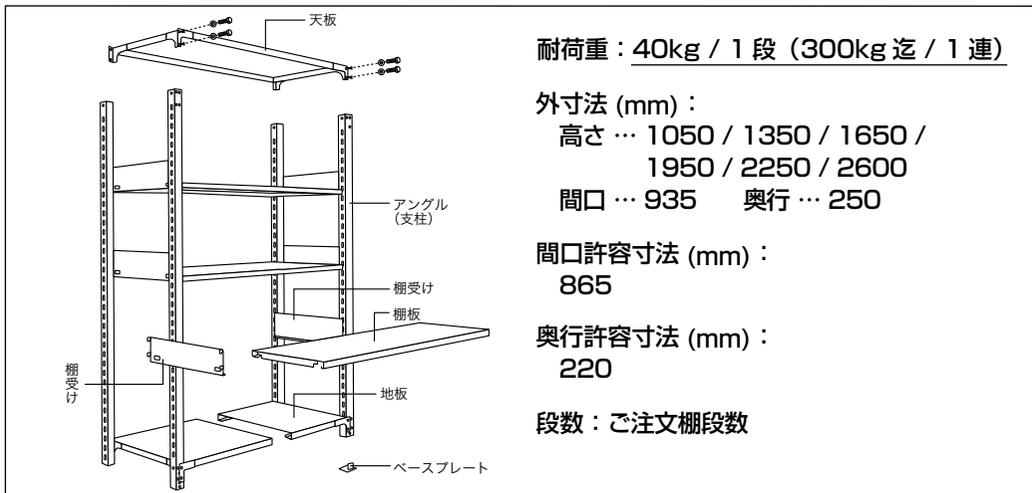


スチール書架 KU 組立説明書



※組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。組み立て後は組立説明書を大切に保管してください。



設置上の警告



必ずお守りください

組み立てはスペースに余裕のある平らな場所を選定し、部材・部品を確実に結合してください。棚の落下や転倒による事故の原因となります。

- ・重量物なので組み立ては2人以上でおこなってください。
- ・金属製のため部材の切り口や棚板のコーナー部分等が鋭利となっている場合がありますので、軍手等をご使用されることをお勧めします。部材の取扱いには十分にご注意ください。

注意

組み立て・設置について

- 狭い場所での作業は避け、床や他の家具等にキズがつかないように丁寧に取り扱いください。
- 必ず純正部品をお使いください。純正部品でないと、十分な強度が得られません。
- 必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。また、棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

使用について

- 耐荷重を超えて使用しないでください。破損する恐れがあります。荷物は一か所に偏らず平均的に置いてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて曲がる場合があります。
- 下段より上段のほうに重いものを置かないでください。重心が上になり不安定になります。



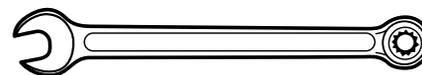
お手入れ方法

- ボルトやナットのゆるみが発生した場合は、増し締めをおこなってください。
- 通常の汚れは固くしぼった布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用し、その後水分が残らないように十分に拭き取ってください。シンナー・アルコール類は使用しないでください。

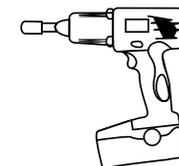
工具

ご用意いただく工具

(ホームセンター・100円ショップ等でお買い求めください。)



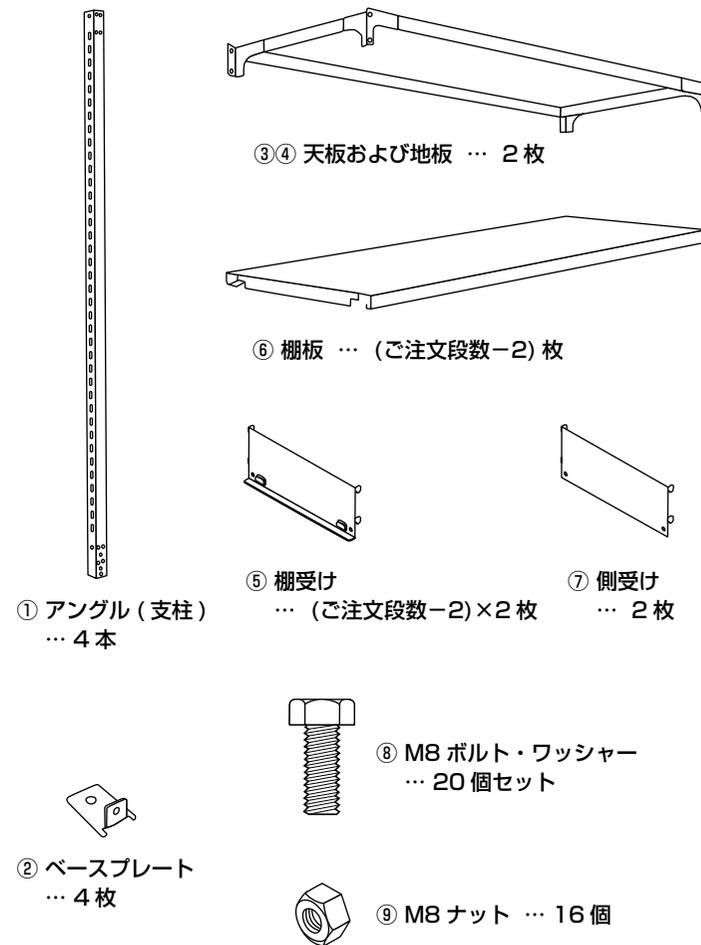
13 mm 径 (M8 用) スパナレンチ



電動式のインパクトドライバーを使用すれば、さらに楽に組み立てできます。

組立部材

※棚 1 台の内容物です。



※最初に必要な部材が揃っているか確認してください。似たような部材でも上下左右で異なる場合がありますのでご注意ください。

販売元

有限会社 オーエス商会

TEL : 0263-88-5730

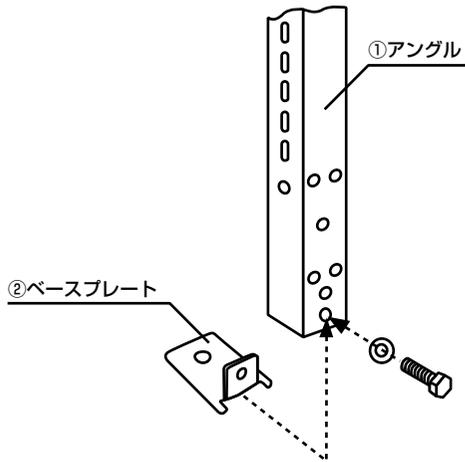
受付時間：10:00～17:00

製造元

金剛株式会社

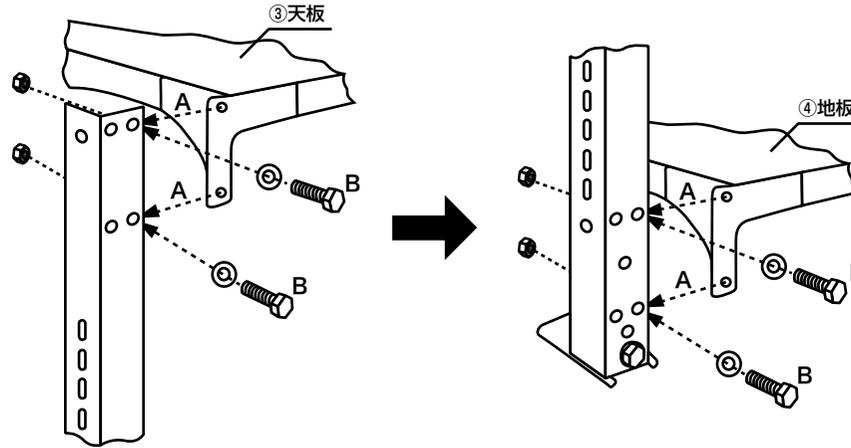
1. ベースプレートの取り付け

- すべてのアングル（支柱）にベースプレート（基礎）をはめ込み、ボルト・ワッシャーで底部の○穴に取り付けます。
- この場合、ベースプレートにはネジが切っており、**ナットは不要**です。



2. 天板と地板の取り付け

- アングルに天板および地板（天板と地板は同一の部材）をA→Bの順番で、ボルト・ナット・ワッシャーにて「仮どめ」（手で緩く締め付ける程度）します。
- 天板および地板とアングルの接合部分は、1台あたり16箇所あり、すべて仮どめにて取り付けます。
- 天板と地板の取り付けは、アングルを立てて組み立てることもできますが、アングルを倒しておこなうこともできます。
- 天板と地板の仮どめが終わったら、棚を起こし、棚の水平方向を確認した後に「本締め」（ボルト・ナットを十分に締め付ける作業）をおこないます。



注意 1本のアングルを十分に締め付けたのちに、他のアングルを締め付けていくようなことは避けてください。

注意 天板および地板のアングルへの取り付けは、必ず2人以上でおこなってください。

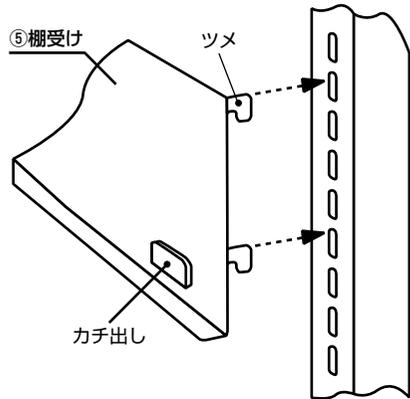
ポイント アングルを倒して組み立てる場合、ボルト等を入れ易くするため、枕木の役目となる棒等を用意します。枕木は以下のもので代用できます。

- ・木製の角材
- ・厚めの雑誌や書籍
- ・ティッシュの箱
- ・段ボールを丸めてテープでとめたもの etc

3. 棚受けと側受けの取り付け

- 次に、中間の棚の位置を決めて、棚受けをアングルに差し込んで固定します。棚受けにあるツメをアングルの孔に引っかけるようにして取り付けます。このとき、各段が必ず左右同じ高さになるようにします。

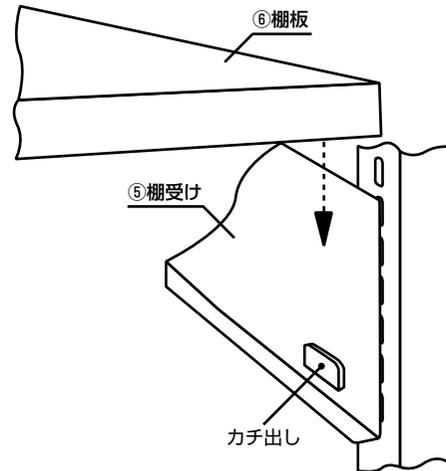
- カチ出しがない側受けも地板の段に、同様に取り付けます。



注意 棚受けの高さが異なると、棚板が変形したり、落下したりする危険性があります。

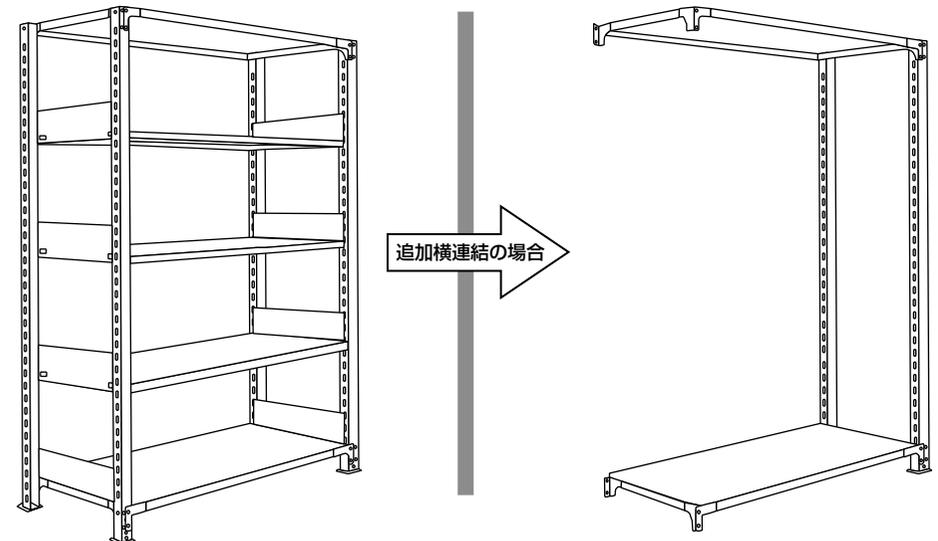
4. 棚板の取り付けと固定

- 棚受けと側受けの取り付けが終わりましたら、棚板の取り付けをおこないます。このとき、棚受けのカチ出しを棚板の裏面にはめ込んで固定します。



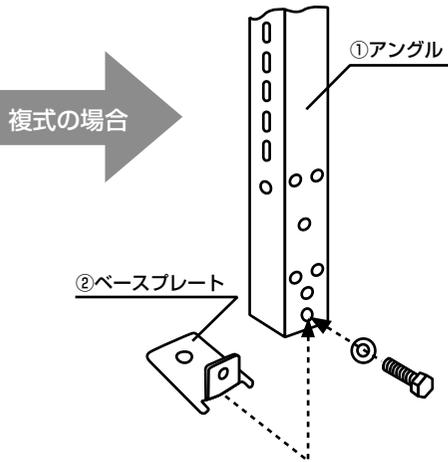
5. 完成！

- 棚板の取り付けと固定が終わりましたら、棚の設置場所へ移動させて完成です！
- 横に追加で連結する場合は、1～2の工程を2本のアングルに対しておこない、5で完成した基本の棚にはめ込み、ボルト・ナット・ワッシャーにて横に追加で取り付けます。同様に3～4の工程で中間の棚板を取り付けたら完成です！



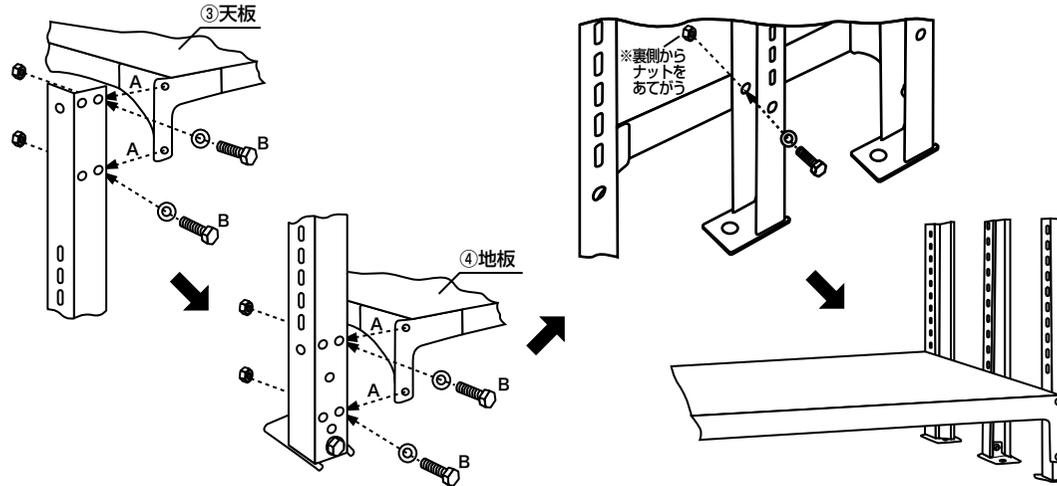
1. ベースプレートの取り付け

- すべてのアングル（支柱）にベースプレート（基礎）をはめ込み、ボルト・ワッシャーで底部の○穴に取り付けます。
- この場合、ベースプレートにはネジが切っており、**ナットは不要**です。



2. 天板と地板の取り付け

- アングルに天板および地板（天板と地板は同一の部材）をA→Bの順番で、ボルト・ナット・ワッシャーにて「仮どめ」（手で緩く締め付ける程度）します。
- 複式の場合、天板と地板の中段に、アングル取り付け孔がありますので、真ん中のアングルをボルト・ナット・ワッシャーにて取り付けます。
- 複式の場合、天板および地板に対して、片側3本のアングル、両側で合計6本のアングルを取付けます。
- 天板および地板とアングルの接合部分は、複式1台あたり20箇所あり、すべて仮どめにて取り付けます。
- 天板と地板の取り付けは、アングルを立てて組み立てることもできますが、アングルを倒しておこなうこともできます。
- 天板と地板の仮どめが終わったら、棚を起し、棚の水平方向を確認した後に「本締め」（ボルト・ナットを十分に締め付ける作業）をおこないます。



注意 1本のアングルを十分に締め付けたのちに、他のアングルを締め付けていくようなことは避けてください。

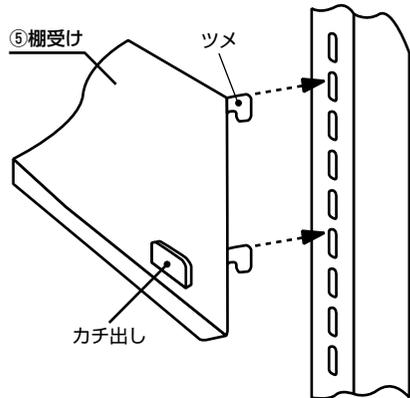
注意 天板および地板のアングルへの取り付けは、必ず2人以上でおこなってください。

! アングルを倒して組み立てる場合、ボルト等を入れ易くするため、枕木の役目となる棒等を用意します。
ポイント 枕木は以下のもので代用できます。
 ・木製の角材
 ・厚めの雑誌や書籍
 ・ティッシュの箱
 ・段ボールを丸めてテープでとめたもの等

3. 棚受けと側受けの取り付け

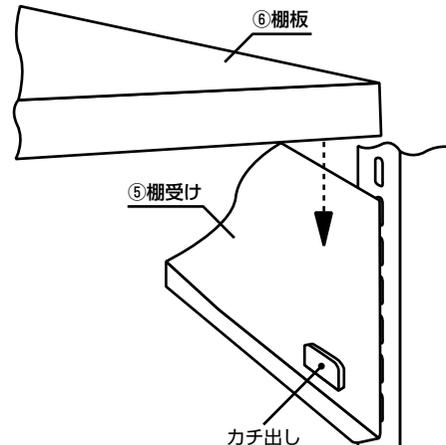
- 次に、中間の棚の位置を決めて、棚受けをアングルに差し込んで固定します。棚受けにあるツメをアングルの孔に引っかけるようにして取り付けます。このとき、各段が必ず左右同じ高さになるようにします。

- カチ出しがない側受けも地板の段に、同様に取り付けます。



4. 棚板の取り付けと固定

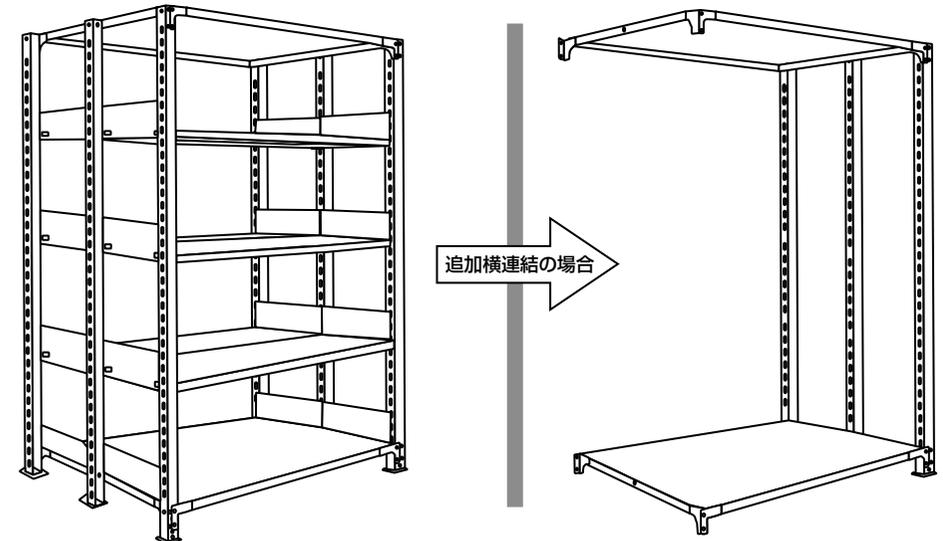
- 棚受けと側受けの取り付けが終わりましたら、棚板の取り付けをおこないます。このとき、棚受けのカチ出しを棚板の裏面にはめ込んで固定します。



5. 完成!

- 棚板の取り付けと固定が終わりましたら、棚の設置場所に移動させて完成です!

- 横に追加で連結する場合、1~2の工程を3本のアングルに対しておこない、5で完成した基本の棚にはめ込み、ボルト・ナット・ワッシャーにて横に追加で取り付けます。同様に3~4の工程で中間の棚板を取り付けたら完成です!



注意 棚受けの高さが異なると、棚板が変形したり、落下したりする危険性があります。